

公表資料

平成25年度補助金見直し結果

平成25年度補助金の見直し結果

総務部

| No.1 | 課名 | 職員課 | 補助金名称 | 自主研修助成金 | |
|--|--|-------|------------|------------------------------|---------|
| 自己評価 | | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 150 | 150 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 職員の自己啓発意欲及び資質を高めることは必要であり、実績から現行補助額での継続は妥当であるとするが、資格取得実績が向上しておらず、今後は制度の周知に努められたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成25年度においては、2月現在8件の申請が受理されており、その内、7件に対して助成（助成総額：72,846円）がなされている状況である。助成がなされた7件の1人当たりの平均助成額が10,407円であるのに対し、資格取得に要した経費総額の平均は31,805円であった。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.2 | 課名 | 保険年金課 | 補助金名称 | はり・きゅう・マッサージ施術費補助金(後期高齢者医療) | |
| 自己評価 | | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 15,840 | 17,050 | ▲ 1,210 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 他の自治体や他の健康保険制度にも同様の制度があることから継続は妥当であるとする。しかし本制度は回数、補助額ともに他市と比較しても上位にあることを考慮し、今後は他市制度と比較検討を行い、国保会計事業と並行して制度の見直しについて検討されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 県内他市町村の制度と比較し回数、金額とも妥当と思われるため、平成26年度も平成25年度と同様の補助を行う。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.3 | 課名 | 保険年金課 | 補助金名称 | はり・きゅう・マッサージ施術費補助金(国民健康保険事業) | |
| 自己評価 | | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 19,191 | 21,382 | ▲ 2,191 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 他の自治体や他の健康保険制度にも同様の制度があることから継続は妥当であるとする。しかし本制度は回数、補助額ともに他市と比較しても上位にあることを考慮し、累積赤字を抱える国保会計の今後の状況によっては、全額一般会計からの繰入金で実施している本制度の存続を含めた見直しを検討されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 県内他市町村の制度と比較し回数、金額とも妥当と思われるため、平成26年度も平成25年度と同様の補助を行う。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| No.4 | 課名 | 危機管理課 | 補助金名称 | 大分被害者支援センター運営補助金 | |
|---|---|-------|------------|------------------|---------|
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 157 | 157 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 犯罪被害者を支援する組織として運営を補助する必要があるため継続が妥当と判断する。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成12年に設立以来、犯罪被害者の支援を自主財源で行ってきたが、犯罪被害の増加などの理由により、財政的に厳しくなったため、県内の全市町村に支援を求めたという経緯がある。県下の財政担当課長会議で支援を決定した。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.5 | 課名 | 危機管理課 | 補助金名称 | 防災士養成事業補助金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 550 | 550 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 防災上の観点から防災士の養成は必要と考えるが、1自治会に1名という数値目標の達成を最優先すべきである。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成25年度中に44名の防災士が養成された。 平成25年度末では、116自治会に210名の防災士が在籍。(死亡者3名除く) しかし、残り29自治会では防災士が養成されていないので、養成されるよう引き続き働きかけていきたい。さらに防災力を強化するため、複数防災士の養成と死亡・病気に伴う補充についても行っていきたい。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| No.6 | 課名 | 温泉課 | 補助金名称 | 大分県温泉調査研究会負担金 | |
|--|--|-------|------------|----------------------|---------|
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 240 | 270 | ▲ 30 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 温泉に関する学術的な調査の必要性は認められるが、その調査結果について、別府市においても有効活用を図りたい。 また、負担金については、繰越金が多いため、総会にて減額の要望をすること。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成25年度の負担金は、予算額の80%に減額して支出した。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| No.7 | 課名 | 文化国際課 | 補助金名称 | 別府八湯日韓次世代映画祭実行委員会補助金 | |
| 自己評価 | 廃止 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 1,000 | 1,000 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 廃止 | 補助を開始して2年を経過するが、担当課の評価のとおり事業実績における公益性の面から廃止が妥当である。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 補助金見直し評価結果のとおり、公益性の面から改善策が講じなければ廃止が妥当であるが、実行委員会事務局に働きかけた結果、社会性・公共性・公益性の高い事業展開が見込めることから、その改善対応を一定程度評価し、今年度補助金は執行予定である。来年度以降については、今後の取り組みを継続的に注視する必要があると考えている。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| 取組内容の進捗を事務局と確認する中で、社会性・公共性が高い映画の上映やゲストと市民の交流会の拡充等、公益性の高い事業展開を検討しており、別府市にとっても、日韓の民間交流による有益性が期待されることから、今後の取り組みを注視し改善が図られれば、継続する余地も考えられる。 | | | | | |
| No.8 | 課名 | 文化国際課 | 補助金名称 | 私費外国人留学生奨学金 | |
| 自己評価 | 廃止 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 0 | 7,200 | ▲ 7,200 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 廃止 | 平成24年度行政評価でも指摘されているように交付対象者は留学生全体の1%未満であり、公平性に欠けるため廃止は妥当と考える。ただし、本市における留学生の存在意義は大きく、地域貢献に積極的な人材も多いことから今後も留学生に対する支援は必要と考える。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 補助金見直し評価結果のとおり、公平性に欠けていることから当事業を廃止とし、代替事業として外国人留学生の独自性、地域性に基づいた幅広い提案型事業を支援し、外国人留学生が地域活動を実践していくための助成制度の構築を目指しており、要綱等の整備を進めている。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |

| No.9 | 課名 | 商工課 | 補助金名称 | 大分県工業団体連合会負担金 | |
|--|--|-----|------------|---------------|---------|
| 自己評価 | | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 改善 | | | 0 | 20 | ▲ 20 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 廃止 | 今年度から補助金交付団体が再編され一般社団法人化したため、補助金は一旦廃止すること。新たな団体における事業目的・計画等を把握し、改めて負担すべきであるか等を精査する必要がある。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成25年4月より事務局を大分県工業振興課工業支援班に設置されたが、その後、動きがないため廃止する。。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.10 | 課名 | 商工課 | 補助金名称 | 竹・ルネサンス事業負担金 | |
| 自己評価 | | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 1,200 | 1,200 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 竹細工の伝統継承及び情報発信を積極的に行い、来館者及び竹工芸展への出品者数も増加しており、その効果は認められる。ただし、決算における市の補助割合が4割を超えていることから、負担割合の見直しを行うとともに、さらなる竹細工伝統産業会館の活用を図りたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 体験学習の内容、価格を見直すとともに、ポスター、パンフレットを課内で印刷するなどし、イベント開催費全体で可能な限りの圧縮を行っている。竹細工伝統産業会館におけるイベント、展示会について企画、実施の段階で、竹・ルネサンス実行委員会の役割は非常に高いため今後も継続していくことが妥当である。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| 平成24年度で地域貢献活動の一環として負担金を支出していた企業からの負担金が打ち切りになり、竹・ルネサンス事業費の総額は減額となったが、今後も大分県で唯一伝統的工芸品として指定されている「別府竹細工」の情報発信、後継者の育成事業のために行う各種イベント等の実施に必要であると考えます。 | | | | | |
| No.11 | 課名 | 商工課 | 補助金名称 | 商店街振興事業費補助金 | |
| 自己評価 | | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 285 | 285 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 参加店舗の意欲向上、意識改善に寄与していることから事業の必要性は認められる。今後も魅力ある商店街づくりを進めるために積極的に多くの店舗へ参加を促し、商店街活性化を図られたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 今年度は商店街振興組合等からの応募がなかったため進捗はないが、継続して商店街振興組合等に来年度参加の要請を商工会議所と協働して実施予定。なお、平成25年10月9日にこれまで当事業に参加した日田市・佐伯市・竹田市・豊後高田市・臼杵市及び別府市の商店街関係者による「大分きりり会」が発足した。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| No.12 | 課名 | 商工課 | 補助金名称 | 市場協力会負担金 | |
|---|---|-------|------------|----------------|---------|
| 自己評価 | | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 100 | 120 | ▲ 20 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | <p>今後も継続して関係団体と協力していくことが必要であることは認められる。ただし、年々繰越金が増えていることから、各団体の負担金額を見直す必要がある。また、負担金の使途についても対象経費を明確にすべきである。</p> <p>なお、繰越金を事業に充当する場合は、その必要性を明確にするとともに、協力会の目的に合った支出をすること。</p> | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| <p>事業内容や収支状況を把握し、現行の負担金の支出を維持したい。なお、平成25年度の市場協力会総会において、平成26年度以降当分の間は、負担金を減額することに決定した。</p> | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.13 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 別府市鳥獣害対策協議会補助金 | |
| 自己評価 | | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 1,000 | 500 | 500 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | <p>有害鳥獣被害対策としての必要性は認められるが、全額公費負担ではなく、ほかの補助制度と同じく自己負担の導入を検討する必要がある。</p> | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| <p>本協議会は、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、本協議会を実施主体として事業を実施しており、制度上自己負担の導入はすぐわないため現状で実施する。また、協議会において野猿被害対策の充実を図るため補助金額を増額する。</p> | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.14 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 小規模土地改良事業費補助金 | |
| 自己評価 | | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 廃止 | | | 0 | 30 | ▲ 30 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 廃止 | <p>代替できる補助制度があるため廃止とする。</p> | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| <p>廃止する。</p> | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| No.15 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 東部地区食料・農業・農村振興協議会負担金 | |
|--|---|-------|------------|----------------------|---------|
| 自己評価 | 改善 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 65 | 129 | ▲ 64 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 農業関係者の交流や知見を広げる重要な場となっており、その必要性は認められる。ただし、大分県が補助金見直し(廃止)を進めていることから、県と協議して補助対象経費や事業内容の精査を行うこと。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 大分県食料・農業農村振興協議会との協議をとおして、県の補助金が1/2になったことに伴い、市の負担金も1/2とすることになった。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.16 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 別府市農業振興対策協議会負担金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 4,000 | 4,000 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 負担金支出先の負担対象経費が不明瞭である。今後は、協議会の助成先である2つの協議会に対して、補助対象経費を明確にし、市が負担すべき経費について精査すること。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 今年度、本協議会において補助対象経費を精査した。本協議会は、消費者へ安全で安心な農産物提供するため、農業施設の整備費や資材購入費、出荷作物の品質向上を図る生産対策費、市場出荷に係る共販対策費、残留農薬検査の実施等に対して助成等を行っているが、来年度は補助対象経費に係る事項を整理してより明確にするため、本協議会の規約の改正について協議・検討を行う。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.17 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 施設園芸償還金負担軽減対策事業費補助金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 0 | 554 | ▲ 554 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 廃止 | 平成25年度をもって終了する補助金である。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 廃止する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| No.18 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 別府市畜産振興会補助金 | |
|--|--|------------|------------|------------------|--|
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 187 | 187 | 0 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 他団体との補助割合の考え方について明確にすること。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 別府市の補助金を定額として、年度による必要経費が多い場合は、JAの負担額を多くし、各種事業に対応している状況にある。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.19 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 大分県畜産共進会開催補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 改善 | | 1,500 | 1,800 | ▲ 300 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 平成25年度は補助金額を減額しているが、依然として市の負担割合が高く、引き続き県、市、他の団体との負担割合を見直すこと。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成25～26年度において補助金の減額を行った。別府市での開催には会場整備等のために補助金による支援が必要である。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.20 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 乳用牛後継牛自家保留事業費補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 廃止 | | 0 | 200 | ▲ 200 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 廃止 | 平成25年度をもって終了する補助である。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 廃止する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| | | | | | |
|--|---|------------|------------|---------------------|--|
| No.21 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 大分県農林水産祭(林業部門)開催補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 800 | 800 | 0 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 林業の現状を広く周知する役割を果たしており必要性は認められる。今後は、別府市における林業の必要性、重要性など別府市の林業振興に資する内容を検討する必要がある。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 大分県農林水産祭において、森林・林業の重要性を周知するのみでなく、別府市開催の「わくわく農産物フェア」において林業の主要産物であるシイタケのPRをする。また、森林の役割・重要性を鑑み未立木地の植栽をするとともに、市有林から産出された木材を利用してベンチ等を作成し、別府の林業のPRを検討する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.22 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 椎茸種駒購入費助成事業費補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 600 | 600 | 0 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 椎茸売価の下落及び原油価格の上昇等を考慮すれば、椎茸生産者の経営安定のため必要であることは認められる。ただし、椎茸売価等が改善すれば補助の廃止を検討すること。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 現在、乾しいたけのkg当たりの単価が安価で推移しているため助成しているが、単価が経営に支障をきたさない水準に達した場合は補助廃止の方向で椎茸生産組合と協議する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.23 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 森林環境保全推進関係事業費補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 377 | 679 | ▲ 302 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 竹林の整備を推進するために必要であることは認められる。また、現在は県の補助事業であるが、県補助が廃止又は縮小された場合の市補助の要否を検討すること。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 大分県は、全国1位のマタケ生産地であり、市内に821haの竹林を有する。しかし、そのほとんどが放置竹林で荒廃している状況である。平成24年度は、本事業で2か所1.2haの竹林整備を行った。竹林整備の要望は多いが、労務が困難で林研グループへの委託等で事業の継続を図りたい。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| No.56 | 課名 | 観光課 | 補助金名称 | 別府八湯温泉まつり事業費補助金 | |
|--|--|-------|------------|-----------------|---------|
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 16,637 | 14,137 | 2,500 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 別府市を代表するまつりとして定着しているが、数年にわたり補助金額が固定化されている。補助金額の見積もりにあたっては、実効性のある事業計画に基づき、事業の効果と必要性を評価して積算すること。また、支出の効率化により補助金額の縮減を図るとともに、事業費に対する補助であることから、繰越金が発生する場合は補助金の減額あるいは返還を求めるなど適切な執行を図りたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 今後も補助を継続する方針であるが、補助額が固定化されているため、補助対象経費の精査を行うとともに、支出の効率化を促し、収支の状況を確認しながら補助額を検討していきたい。なお、平成26年度は第100回目の温泉まつりとなるため、記念事業を実施する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| 平成26年度は、温泉まつりの第100回目にあたり、記念事業を実施するため予算を増額している。 | | | | | |
| No.57 | 課名 | 観光課 | 補助金名称 | 千灯明事業費補助金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 4,300 | 4,300 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 公園緑地課の事業として開始され、市民交流型のイベントとして定着する一方で、来場者の構成や事業内容から観光客誘致事業としての目的が薄れてきている。今後も事業を継続するのであれば、事業の目的を明確にするとともに、その目的に沿った事業内容や事業所管課を検討されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 観光客誘致事業として、より観光客を集客できるイベント内容にするため、他イベントのイルミネーションと連携した新しいイベント内容の見直しを検討している。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.58 | 課名 | 文化国際課 | 補助金名称 | 市美展補助金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 315 | 315 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 自主財源の増収と事業費の見直しにより助成割合を引き下げ、団体の自立を促すとともに、補助対象経費の明確化を図りたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 昨年度から、補助対象経費の明確化を図り、補助対象経費の1/3以内を補助額とするようにした。それに伴い、自主財増収のため、出展者(数)を増やす方策を講じるよう補助金の交付先に指導している。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| | | | | | |
|--|---|------------|------------|-------------------|--|
| No.59 | 課名 | 商工課 | 補助金名称 | 小規模企業経営改善普及事業費補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 5,400 | 5,400 | 0 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 補助対象経費を把握するとともに、県補助金を参考に補助割合の根拠を明確にして、必要最低限の補助金額を積算されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 県補助金を参考とした補助割合の基準を設けた。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.60 | 課名 | 競輪事業課 | 補助金名称 | 周辺対策事業補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 6,300 | 6,300 | 0 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 事業内容や補助対象経費、補助団体の収支状況等を的確に把握のうえ、必要最小限の補助金額を積算されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| この亀川夏まつりは、地域が集う夏まつりとして定着しており、地域活性化の目玉となっている。地域とともに発展してきた別府競輪場としては周辺対策の重要な事業と認識している。今後の動向をみながら、補助規模を縮小することも検討したい。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.61 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 農業青年開発グループ活動補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 25 | 27 | ▲ 2 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 廃止 | 補助金額が少額で、必要性と補助効果について検証ができていない。廃止について対象団体と協議し、早期に予算において反映をされたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 補助金額については事業規模に対する補助割合が約17%であるため妥当な金額と判断しているが、大分県漁業協同組合青年部別府支部活動補助金との整合性を鑑み2千円減額する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| 農業後継者が減少傾向にある中、農業振興を推進する別府市として農業を担う団体への支援は必要であると判断し補助を継続している。 | | | | | |

| No.62 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 有害鳥獣被害防止対策事業費補助金 | |
|--|--|-------|------------|---------------------|---------|
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 1,575 | 1,449 | 126 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 県や関係団体への協力あるいは負担を求め、事業の改善を図りたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成24年度は、県の事業で朝見地区にサル防護ネットを260m設置した。平成25年度も鳥越地区に約400mセット予定である。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.63 | 課名 | 農林水産課 | 補助金名称 | 大分県農林水産祭(水産部門)開催補助金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 2,000 | 2,000 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 用途の明確化、補助金額の妥当性の検証を行い、必要最低限の補助金額を積算されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 農林水産祭は平成17年度より別府市へ誘致して開催しており、また、補助対象経費である会場設営費は毎年度650万円程度要していることにより補助金額としては妥当と判断し、現状維持としている。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| No.24 | 課名 | 環境課 | 補助金名称 | 保護樹維持助成金 | |
|--|---|-----|------------|-------------|---------|
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 100 | 100 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 市が保護樹の指定をすることにより私有財産に制約を加えるものとなることから、保護樹の保護に係る費用を全て所有者に負担させることは適当ではなく、担当課の評価のとおり継続が必要である。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 保護樹の管理に要した経費について所有者から補助金の申請があったときに助成する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.25 | 課名 | 環境課 | 補助金名称 | 全国都市清掃会議負担金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 104 | 104 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 清掃会議からいち早く提供される情報をもとに加盟市の間で情報を交換する機会があるなど有益性が認められる一方、県内の加盟市は大分市、別府市、佐伯市の3市のみであることから、収集業務の委託の状況も踏まえた上で、継続の必要性について検討されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 廃棄物処理事業の効率的な運営及びその技術の改善のために、加盟団体との情報交換や総会決議に基づき要望活動を行った。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| 全国都市清掃会議の有益性と収集業務の委託状況を踏まえ、平成27年度に再度の見直しを検討している。 | | | | | |
| No.64 | 課名 | 環境課 | 補助金名称 | 生ごみ処理器購入補助金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 0 | 500 | ▲ 500 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 廃止 | 自己評価のとおり、申請件数が年々減少している現状を踏まえ、他の生ごみ減量施策への展開を図り、廃止を検討されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 事業の廃止を市報及びケーブルテレビを使って周知する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

平成25年度補助金の見直し結果

福祉保健部

| | | | | | |
|--|---|-------|------------|-----------------|---------|
| No.26 | 課名 | 社会福祉課 | 補助金名称 | 民生委員・児童委員活動費交付金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 25,502 | 25,800 | ▲ 298 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 平成25年度より市の単独交付金額を増額しているが、今後さらに民生委員・児童委員の活動が重要となることから、将来的に協議会交付金と合わせて、他都市の状況を踏まえた上で、活動支援のあり方を検討されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成25年度より市の単独交付金額を増額しているが、民生委員・児童委員の業務が急速に増加しており、今後も他都市の状況等を踏まえ、活動を支援したい。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.27 | 課名 | 社会福祉課 | 補助金名称 | 民生委員・児童委員協議会交付金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 4,669 | 4,742 | ▲ 73 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 民生委員・児童委員協議会の活動については必要性を認めていることから、協議会県交付金の補助事業として継続は妥当である。また市の単独事業で交付する協議会交付金及び毎年行っている研修会打切旅費については、将来的に効果を再検証し、活動費交付金と含め検討されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 民生委員・児童委員の研修については、スキルアップのため必須と考えているが、実施方法等については今後も民生委員・児童委員協議会と協議していきたい。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.28 | 課名 | 社会福祉課 | 補助金名称 | 旅費困窮者旅費等交付金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 180 | 180 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 行旅病人の移送については、行旅病人の救済措置としての観点から欠かせない事業であるため、継続が妥当と考えるが、対象事業費の精査を行い、補助金の返還を求めるなど適切な執行を図られたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 補助金の交付先へ返還を求めるなど適切な対応を実施している。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

平成25年度補助金の見直し結果

福祉保健部

| | | | | | |
|---|--|------------|------------|-------------------|--|
| No.29 | 課名 | 社会福祉課 | 補助金名称 | 住宅手当 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 5,998 | 5,998 | 0 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 第2のセーフティネットとしての観点から欠かせない事業であるため、継続が妥当と考えるが、対象事業費の精査を行い必要最小限の助成をされたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 手当受給者が、早期に就職ができるようハローワークと連携を図りながら効果的な就労支援を推進している。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.30 | 課名 | 障害福祉課 | 補助金名称 | 聴覚障害者用ファクシミリ貸与助成金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 152 | 178 | ▲ 26 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 昨今の情報通信の発達に伴い、コミュニケーションの多様化が進んでいる中で、固定電話並びにファックスの貸与によるコミュニケーションの確保に限定した方法が妥当であるのか、現状の調査を行い、ニーズを把握した上で、福祉電話を含む障がい者及び高齢者のコミュニケーション事業としてのあり方を再検討されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 現状調査の結果、ファックスによる通信は、現行の情報化社会においても聴覚に障がいのある人のコミュニケーションにとって欠かせない重要な手段であることが確認されたことから、現行制度を引き続き継続する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.31 | 課名 | 障害福祉課 | 補助金名称 | 人工内耳装用者電池購入費等補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 352 | 352 | 0 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 本市が自主的に取り組んでいる事業であるが、本来は住む地域に関係なく助成されるべきものであり、国が行う障害者施策の動向に注意しながら検討されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 現行制度の下で、障がいのある人の地域生活を引き続き支援するとともに、国の動向を注視する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| No.32 | 課名 | 障害福祉課 | 補助金名称 | 住宅整備事業助成金 | |
|--|--|-------|------------|---------------------|---------|
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 2,200 | 3,400 | ▲ 1,200 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 在宅の重度心身障がい者の生活環境の確保の観点から必要性な事業のため、対象事業費の精査を行い必要最小限の助成をされたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 現行制度の下で、障がいのある人の地域生活を引き続き支援する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.33 | 課名 | 障害福祉課 | 補助金名称 | 地域活動支援センター機能強化事業補助金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 12,000 | 12,000 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 障がい者の日常生活等を支援する地域生活支援センターの必要性から施設の助成継続は妥当であると考え、地域生活支援センターの活動内容について十分検証されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 現行制度の下で、障がいのある人の地域生活を引き続き支援するとともに、地域活動支援センターの活動内容を確認し、補助事業の適正な遂行を確保する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.34 | 課名 | 障害福祉課 | 補助金名称 | 福祉ホーム事業補助金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 7,905 | 7,912 | ▲ 7 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 障がい者の日常生活等を支援する福祉ホームの必要性の観点から欠かせない事業であるため、継続は妥当であると考え。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 現行制度の下で、障がいのある人の地域生活を引き続き支援する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

平成25年度補助金の見直し結果

福祉保健部

| | | | | | |
|--|---|------------|------------|-----------------|--|
| No.35 | 課名 | 児童家庭課 | 補助金名称 | 認可外保育施設助成金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 12,000 | 12,862 | ▲ 862 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 平成24年度行政評価を反映した上で、多様な保育ニーズに対応した公費助成のあり方を見直す必要があるが、加えて保育施設への指導・調査を適切に執行されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 夜間、休日保育も開設している施設もあることから、多様な就労条件等により保育に欠ける乳幼児に対して安全な保育環境の確保としても必要である。助成方法については、助成金の基礎となる児童数を毎月報告してもらい確認している。また、保育施設には指導・調査を行っている。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| No.36 | 課名 | 児童家庭課 | 補助金名称 | 民間児童福祉施設等整備費補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 191,268 | 80,135 | 111,133 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 子どもが安心して育つことができる保育環境整備の観点から継続は妥当であると考えているが、計画的に補助事業として実施されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 「継続」としての評価をいただいております。今後も事前に私立保育園と協議した上で、計画的に実施いたしたい。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| No.37 | 課名 | 児童家庭課 | 補助金名称 | 障害児保育事業補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 6,101 | 6,972 | ▲ 871 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 障害児の処遇向上につながるよう、現行制度の活用を図られたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 現行制度を継続する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |

平成25年度補助金の見直し結果

福祉保健部

| | | | | | |
|---|---|------------|------------|-----------------|--|
| No.38 | 課名 | 児童家庭課 | 補助金名称 | 障害児保育促進対策事業等補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 改善 | | 1,200 | 600 | 600 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 障害児の処遇向上につながるよう、現行制度の活用を図りたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 現行の制度を継続する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.39 | 課名 | 児童家庭課 | 補助金名称 | 延長保育事業補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 128,992 | 125,887 | 3,105 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 子どもを取り巻く環境整備の一環として、延長保育は必要であり、補助事業として継続すべきと考える。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 安心して子育てが出来る環境整備のため引続き補助を行い、児童の福祉の向上を図る。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.40 | 課名 | 児童家庭課 | 補助金名称 | 休日保育事業補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 3,173 | 3,173 | 0 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 子どもを取り巻く環境整備の一環として、休日保育は必要であり、補助事業として継続すべきと考える。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 安心して子育てが出来る環境整備のため引続き補助を行い、児童の福祉の向上を図る。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

平成25年度補助金の見直し結果

福祉保健部

| | | | | | |
|---|------|--|------------|-----------------|---------|
| No.41 | 課名 | 児童家庭課 | 補助金名称 | 一時保育促進事業補助金 | |
| | 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | 継続 | | 1,580 | 1,580 | 0 |
| | 最終評価 | 評価内容 | | | |
| | 継続 | 子どもを取り巻く環境整備の一環として、一時保育は必要であり、補助事業として継続すべきと考える。 | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 安心して子育てが出来る環境整備のため引続き補助を行い、児童の福祉の向上を図る。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.42 | 課名 | 高齢者福祉課 | 補助金名称 | 在宅寝たきり高齢者介護者見舞金 | |
| | 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | 継続 | | 2,610 | 2,910 | ▲ 300 |
| | 最終評価 | 評価内容 | | | |
| | 継続 | 家族介護用品給付事業との重複支給にならないような調整方法を検討し、地域での介護サービスの充実を図り、福祉サービスとして現金給付が適当であるかを含め、事業自体の見直しも検討されたい。 | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 事業自体の見直しが可能かどうか継続的に検討している。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.43 | 課名 | 高齢者福祉課 | 補助金名称 | 地区敬老会交付金 | |
| | 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | 継続 | | 27,482 | 27,011 | 471 |
| | 最終評価 | 評価内容 | | | |
| | 継続 | 敬老行事に係る補助金の効果を検証し、敬老行事に参加されない方に対する補助金の取扱いなどを含め、他自治体を参考に本補助事業のあり方を検討されたい。 | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| この事業に対する自治会の意見についてアンケート実施を検討している。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| | | | | | |
|--|------|---|------------|--------------------|---------|
| No.44 | 課名 | 高齢者福祉課 | 補助金名称 | 敬老祝金交付金 | |
| | 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | 縮小 | | 55,920 | 55,160 | 760 |
| | 最終評価 | 評価内容 | | | |
| | 縮小 | 担当課の自己評価にあるとおり、高齢者施策の転換を図るため、平成26年度以降の補助要綱の改正により、敬老祝い金の補助支給基準の縮小を図られたい。 | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 高齢化率の増加に対応するため、現金支給である節目支給の縮小を図り、その財源を新たな高齢者施策に活用したい。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| 現在実施している第6期介護保険事業計画に係るニーズ調査の結果を踏まえ、新たな高齢者施策について調査研究を行い、平成27年度を目途に敬老祝金については節目支給を見直すことで事業の縮小を図り、その財源を活用して新たな高齢者に対する事業を展開する予定である。 | | | | | |
| No.45 | 課名 | 高齢者福祉課 | 補助金名称 | 高齢者安心住まい改修支援事業費補助金 | |
| | 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | 継続 | | 2,700 | 3,600 | ▲ 900 |
| | 最終評価 | 評価内容 | | | |
| | 縮小 | 高齢者福祉課所管の簡易耐震改修については、建築指導課所管の木造住宅耐震化促進事業補助事業に比べ補助割合が低いことから、実績がないことから、本事業の簡易耐震改修を廃止し、木造住宅耐震化促進事業へ移行する方向で検討を図られたい。 なお、バリアフリー改修については補助事業として継続すべきと考える。 | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 今後、高齢者人口の増加に伴い、高齢者世帯が増加し、申請者数も増えて行くと考えられる。高齢者が安心して在宅生活を送っていくための支援として、高齢者安心住まい改修支援事業を継続するが、需要がない簡易耐震改修は廃止する。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.46 | 課名 | 高齢者福祉課 | 補助金名称 | 社会福祉法人利用者負担軽減助成金 | |
| | 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | 継続 | | 1,078 | 1,057 | 21 |
| | 最終評価 | 評価内容 | | | |
| | 継続 | 低所得者の利用者負担の軽減する観点から、助成金の必要性は認められるため、補助事業として継続すべきと考える。 | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 低所得者で生計が困難である者及び生活保護受給者等について、介護保険サービスの提供を行う社会福祉法人が、その社会的な役割を考慮し、法人の負担を基本として利用者負担を軽減している。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| No.47 | 課名 | 健康づくり推進課 | 補助金名称 | 不妊治療費助成金 | |
|--|--|----------|------------|-------------------|---------|
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 4,300 | 3,600 | 700 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 市の単独事業ではあるが、少子化対策及び次世代育成支援の観点から、継続すべきと考える。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成25年度は、2月末までに40件、3,353,600円支出した。今後も不妊治療に対するニーズが見込まれるため、少子化対策の一環として増額した。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.65 | 課名 | 高齢者福祉課 | 補助金名称 | 別府市老人クラブ連合会活動費補助金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 2,521 | 2,480 | 41 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 単位老人クラブの加入数が増加するように、補助に頼らない独自財源の確保に努め、老人クラブ本来の役割を果たすよう図られたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 老人クラブの活性化を図るため別府市老人クラブ連合会と定期的に協議を進めている。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.66 | 課名 | 高齢者福祉課 | 補助金名称 | 別府市老人クラブ連合会事業費補助金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 500 | 500 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 単位老人クラブの加入数が増加するように、補助に頼らない独自財源の確保に努め、老人クラブ本来の役割を果たすよう図られたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 老人クラブの活性化を図るため別府市老人クラブ連合会と定期的に協議を進めている。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|------------|-------|-----------------|---------|--|
| No.48 | 課名 | 都市政策課 | 補助金名称 | 大分県国土調査推進協議会負担金 | | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 139 | | 137 | 2 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | | |
| 継続 | 地籍調査事業推進のため、情報収集や職員の資質向上には必要であると考え、繰越金については県下市町村で統一した働き掛けが必要と考える。 | | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | | |
| 引き続き会員として、全会員（国土調査を実施している13市町及び県）が出席する毎年度の総会において、国土調査事業の推進のため、効率的・効果的な運営・実施を図るよう要望等をしていきたい。 | | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | | |
| | | | | | | |
| No.49 | 課名 | 道路河川課 | 補助金名称 | 大分県砂防協会負担金 | | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 163 | | 125 | 38 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | | |
| 継続 | 研修会及び県外視察等を通じて、職員の資質向上には必要である。 | | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | | |
| 砂防事業等の他県の状況を視察するとともに、県内砂防関係者と意見交換することにより今後の砂防事業の推進に寄与するため、砂防事業現地研修会や講習会に参加した。 | | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | | |
| | | | | | | |
| No.50 | 課名 | 下水道課 | 補助金名称 | 納付組合報償金 | | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 0 | | 45 | ▲ 45 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | | |
| 廃止 | 交付団体も少なく、又、県下でも本事業を行っている市町村はないため廃止が妥当であると思われる。また、前納報奨金制度についても必要性について検証が必要である。 | | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | | |
| 平成26年4月1日から廃止 | | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | | |
| | | | | | | |

平成25年度補助金の見直し結果

建設部

| | | | | | |
|---|---|------------|------------|------------|--|
| No.51 | 課名 | 建築指導課 | 補助金名称 | アスベスト調査補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 250 | 500 | ▲ 250 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 今年度実施の実態調査の結果をもって、分析調査実施の指導を強化されたい。なお、本事業は平成25年度までの補助事業であり、今後は国の動向を注視しながら方針を検討されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 今年度実施した実態調査をもとに、分析調査の指導を行った結果、3件が実施した。平成26年度も国の補助事業が継続されることから、引き続き分析調査実施の指導を強化していきたい。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|------------|------------|-------------|--|
| No.52 | 課名 | 学校教育課 | 補助金名称 | 高等学校奨学金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 15,282 | 15,324 | ▲ 42 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 厳しい経済状況が続いていること、条例及び規則に基づいて贈与していることから、担当課の評価のとおり継続が必要である。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 昨今の厳しい経済状況において、学業・人物ともに優秀で経済的な理由により就学が困難な生徒の高校進学に対し奨学金を贈与支給することにより、社会における有能な人材育成及び教育の振興に寄与している。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.53 | 課名 | 学校教育課 | 補助金名称 | 大学奨学金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 継続 | | 2,880 | 2,880 | 0 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 厳しい経済状況が続いていること、条例及び規則に基づいて貸与していることから、担当課の評価のとおり継続が必要である。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 昨今の厳しい経済状況において、学業・人物ともに優秀で経済的な理由により就学が困難な生徒の大学進学に対し奨学金を貸与することにより、社会における有能な人材育成及び教育の振興に寄与している。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.67 | 課名 | 生涯学習課 | 補助金名称 | 町内公民館事業費補助金 | |
| 自己評価 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) | |
| 改善 | | 2,244 | 2,244 | 0 | |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 廃止 | 自己評価にあるとおり、補助の目的である各町内公民館での生涯学習事業の実施は困難であるとみられることや、補助金の使途が明確でなく大部分の町内公民館で多額の繰越金を保有している状況であることから、廃止について対象団体と協議のうえ、早期に予算において反映されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 町内公民館館長の8割ほどを自治会長等が兼務しているため、当該補助金を協議するにあたり、自治会の意見を聴取することが不可欠と判断し、自治委員会会長に町内公民館連合会役員との協議に加わっていただき、町内公民館事業を自治会事業の中で協議していくことを確認した。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| 136町に対して給付しており、各々自治会の運営事情が異なるため、慎重な対応が必要である。また、補助金の一本化など対応策を持って協議検討し、理解を得る必要があると考えている。 | | | | | |

| No.68 | 課名 | 生涯学習課 | 補助金名称 | 町内公民館連合会補助金 | |
|---|--|-------|------------|--------------------|---------|
| 自己評価 | 改善 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 30 | 30 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 廃止 | 自己評価にあるとおり、自治会活動と公民館活動の差別化ができておらず、補助額も少額であることから廃止を検討されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 町内公民館館長の8割ほどを自治会長等が兼務しているため、当該補助金を協議するにあたり、自治会の意見を聴取することが不可欠と判断し、自治委員会会長に町内公民館連合会役員との協議に加わっていただき、町内公民館事業を自治会事業の中で協議していくことを確認した。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| 町内公民館活動の活性化を図るために町内公民館事業費補助金とセットで協議していく必要がある。 | | | | | |
| No.69 | 課名 | 生涯学習課 | 補助金名称 | 別府市子ども会育成会連合会事業補助金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 180 | 180 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 自己評価のとおり、事業の継続は適当と認めるが、補助金を超える繰越金が発生しており、補助金額の縮小により必要最低限の金額の積算をするよう精査されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成24年度は補助対象に運営費も含まれていたが、平成25年度から事業費補助へ変更した。また、補助額については、平成24年度決算の繰越金額が補助金額を下回ったため、前年度と同額で計上した。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| No.70 | 課名 | 生涯学習課 | 補助金名称 | 別府市PTA連合会事業補助金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| | | | 360 | 360 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 改善 | 自己評価のとおり、事業の継続は適当と認めるが、補助金を超える繰越金が発生しており、補助金額の縮小により必要最低限の金額の積算をするよう精査されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成24年度は補助対象に運営費も含まれていたが、平成25年度から事業費補助へ変更した。また、補助額については、平成24年度決算の繰越金額が補助金額を下回ったため、前年度と同額で計上した。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |

平成25年度補助金の見直し結果

教育委員会

| No.71 | 課名 | 別府商業高等学校 | 補助金名称 | 各種大会出場費補助金 | |
|--|---|----------|------------|------------|---------|
| 自己評価 | | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 1,100 | 1,100 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 縮小 | 事業費に対する補助であるが、繰越金が発生しており、減額あるいは返還させるなど、必要最小限の補助金額を積算されたい。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成25年度は見直しにより補助金の減額を行った。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| 平成25年度1クラス減、平成26年度も1クラス減となり大幅な収入減となっている。平成27年度からは入学生徒がゼロとなるので、今後の繰越金や県外大会への出場実績をみていく必要がある。 | | | | | |

平成25年度補助金の見直し結果

消防本部

| No.54 | 課名 | 消防本部 | 補助金名称 | 大分県防災ヘリコプター運航連絡協議会負担金 | |
|---|--|------|------------|-----------------------|---------|
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 5,241 | 5,241 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | ヘリコプターによる山岳事故等の捜索・救助、遠方への救急搬送などを行うために、今後も県内各市の負担で防災ヘリコプターの運行管理を継続する必要がある。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 平成25年度の別府市での運航実績は5回であり、山岳での救助1件、救急広域搬送4件となっている。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |
| No.55 | 課名 | 消防本部 | 補助金名称 | 大型自動車免許取得助成金 | |
| 自己評価 | 継続 | 予算額 | 平成26年度(千円) | 平成25年度(千円) | 増減額(千円) |
| 継続 | | | 400 | 400 | 0 |
| 最終評価 | 評価内容 | | | | |
| 継続 | 業務上必要となる資格であり、取得には多額の費用がかかることから、取得費用の一部を助成することの必要性は認められる。ただし、今後は採用試験の条件に大型免許取得者を加える等の検討も必要である。 | | | | |
| 取組内容の進捗状況 | | | | | |
| 大型免許が必要な人員について、5か年計画を策定し、計画的な免許取得と人員配置を行っている。また、採用試験の条件に大型免許取得を加えることについては、人員の状況を見ながら検討していく。 | | | | | |
| 評価内容に沿えない理由、今後の方針、意見等 | | | | | |
| | | | | | |